

【2026 年度/総合基礎科目領域/外国語科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
英語会話(advanced)		選択必修	1	1.2.3.4	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
ジェイソン・ディーン・スタージョン	C309	jsturjeon	水曜日 14:30-17:30		
授業の目的・概要	<p>目的: 本授業では、英語での発話に対する心理的な抵抗を減らし、基本的なコミュニケーション能力を強化するとともに、より具体的な表現や会話の流れを意識して話す練習を行う。特に、旅行者への対応や意思決定の表現、症状の説明など、実生活で役立つ英会話能力の向上を目的とする。</p> <p>概要: 本授業は、英語会話で培った「間違いを恐れず話す姿勢」を維持しながら、より明確で伝わりやすい発話を目指す。短い単語やフレーズではなく、より完全な文で発話できることを目標とし、語彙が不足している場合でも、相手に伝わるように言い換える力を養う。文法の正確さも評価基準の一部とするが、あくまで「意思疎通が取れること」を重視する。授業では、ロールプレイやインフォメーションギャップ活動を通じて、実際の会話場面を想定した練習を行う。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・デバート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	英語を話す方法を学ぶには、実際に話し聞く練習が必要である。そのため、クラス内外のさまざまな状況で英語を使うことが重要となる。				
教科書	必要に応じプリントの配布を行う。				
参考書	英和辞典 (授業に必ず持参すること)				
外部教材	なし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	簡単な英会話に積極的に参加することができる。			HSU(2)	
②	日本語を話せない観光客の手助けができる。			HSU(2)	
③	値段、時間、日付などの数字を正確に使うことができる。			HSU(2)	
④	英語で診察の予約ができる。			HSU(2)	
⑤	英語で体験談を話すことができる。			HSU(2)	
⑥	語彙が不足していても、関係詞を効果的に使うことができる。			HSU(2)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	英語会話 I の復習を行い、基本的な会話戦略や質問文の使い方を確認する。	講義・演習	自己紹介の練習を行い、会話の流れを意識する	1	
2	数字を使った表現 (時間、年、金額) と、ネイティブスピーカーがよく使うショートカットを学ぶ。	講義・演習	数字を使った会話を練習し、聞き取りの精度を高める	1	
3	数字を使った英会話表現の応用練習を行い、流暢さを向上させる。	講義・演習	数字を使った質問を作り、ペアで会話をする	1	
4	旅行者への対応方法を学び、観光地の案内やおすすめの店を紹介する練習を行う。	講義・演習	観光客対応のロールプレイを行い、実践的な会話を練習する	1	
5	観光に関する新しい語彙を学び、旅行者と接するための会話表現をさらに練習する。	講義・演習	簡単な道案内のフレーズを覚え、練習する	1	
6	自分の好みを表現する方法を学び、理由を説明しながら意見を述べる練習を行う。	講義・演習	好きなもの・嫌いなものを話し合い、意見交換を行う	1	
7	これまでの学習内容を復習し、中間試験の準備を行う。	講義・演習	会話形式のクイズで重要表現を確認する	1	
8	中間試験 (グループ形式のインフォメーションギャップ活動) を実施する。	講義・演習	グループ内での情報共有能力を評価する	1	
9	症状の説明や医師との会話を学び、基本的な医療英語の表現を習得する。	講義・演習	医療シチュエーションを想定し、ロールプレイを行う	1	
10	診察の受け方や薬の説明を英語で行う練習をし、実践的なスキルを向上させる。	講義・演習	実際の症状を想定し、会話形式で説明する	1	
11	関係代名詞 (who, that, which) を学び、語彙が不足している場合でも説明できる力を養う。	講義・演習	関係代名詞を用いた表現で物や人を説明する練習を行う	1	
12	手順の説明や指示の仕方を学び、相手に明確に伝える練習を行う。	講義・演習	指示を出しながらペアワークを行い、正しく伝わるか確認する	1	
13	指示の表現を強化し、流暢に指示ができるようになるための練習を行う。	講義・演習	絵を使った指示ゲームを行い、正確な説明をする	1	
14	過去の出来事を表現し、簡単なストーリーを語る練習を行う。	講義・演習	経験談を話し、聞き手が理解しやすい構成を意識する	1	

【2026 年度/総合基礎科目領域/外国語科目群】

15	これまでの学習内容を総復習し、会話能力の向上を確認する。	講義・演習	ペアまたはグループで自由会話をを行い、習得度を確認する	1
試	3~4 人グループで英語のみで話すことを通して問題を解く。			

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		65	0	0	0	35	100
総合 力 指 標	知識・技術力	0	0	0	0	0	0
	思考・推論・創造する力	15	0	0	0	0	15
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	5	0	0	0	0	5
	コミュニケーション力	35	0	0	0	0	35
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	35	35
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	0	10

評価のポイント			評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標			
試験	①		試験：グループタスクを完成させる。(グループメンバー一人にある情報が与えられ、その情報を英語、コミュニケーションのテクニックを使い、他のメンバーに伝達する。グループメンバーは互いに協力し、問題解決方法を探す。) 評価：日本語を使わずに、正確に情報の伝達、解釈ができるかを評価する。(成績の65%)	試験の評価、教員による 個人的な助言・コーチング
	②	✓		
	③	✓		
	④			
	⑤	✓		
	⑥	✓		
レポート	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①	✓	成績評価は主に、授業中のスピーキング活動への積極的な参加と、英語を使う努力、コミュニケーション技術に基づいて行われる。授業中のアクティビティに日本語を使用することはない。英語の正確さよりも、タスクの成否で加点する。(成績の35%)	教員からの個人的な助言・コーチング、スピードチェックの結果
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤	✓		
	⑥	✓		

備 考

他 担 当 教 員	なし
教員の実務経験	9年間日本で英語を教授しており、10年間は本学で英語教育に携わっている。
実践的授業の内容	

【2026 年度/総合基礎科目領域/外国語科目群】

そ の 他	この科目は、前期開始前に実施したプレースメントテストで50%以上を有することあるいは英語会話を履修したことが履修の条件となる。学生は態度と英語を話すスキルに基づいて評価されるため（書式による課題はない）、出席と参加は非常に重要となる。クラスに欠席すると、その日は0点になる。会話クラスの性質上、感染のリスクは通常よりも高くなる可能性がある。従って教室の換気が頻繁に行われるため学生は温度調整ができる服装で参加することを推奨する。また、大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法（マスク着用等）を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めない。各クラスは24人の学生に制限されている。万が一、24人以上の学生が同じクラスに登録した場合、一部の学生は履修できない場合がある。
-------------	---